

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区自主防災会

| | | | | |
|---|--|----------|---------|---|
| 事業名 | 1 | 地域防災強化事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 142,180円 | 助成金充当額 | 80,000円 | |
| 事業対象者 | 全校区民 | 参加人数 | 80名 | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・各自治会連絡網の整備・確立。 ・宇部市総合防災訓練：令和2年10月25日実施。 | | | |
| 事業目標 | ・全校区民を対象とする防災訓練の実施。 | | | |
| | 数値目標 | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | 防災訓練参加人数 | 1000 | 80 | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染拡大防止策を最優先で計画を立てたので、各教育機関や単位自治会との連携が不十分であった。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) 地区民の防災意識の向上に一定の効果が得られた。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 防災に対して地区民に温度差があり、全地区民の防災に対するレベル感の引上げが必要である。また、単位自治会における避難経路の確認等、きめ細かい活動が必要である。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | 1 | ② | 3 |
| | 助成金を有効に活用できましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | 1 | 2 | ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山校区老人クラブ連合会

| | | | | |
|---|---|---------|--------|----------|
| 事業名 | 2 | 健康づくり事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 448,280円 | | 助成金充当額 | 176,000円 |
| 事業対象者 | 藤山校区内55歳以上が対象。 | | 参加人数 | 44名 |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事が中止となった中で、屋内で可能な健康体操や高年者学級への参加を促進した。 ・健康体操の実施, 高年者学級 | | | |
| 事業目標 | ・宇部市スポーツ大会中止 ・藤山校区老人スポーツ大会中止 | | | |
| | 数値目標 | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | 高年者学級 | 100名 | 208名 | |
| 事業効果 | (達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、屋内事業を中心としたが、対象者に高齢者が多いため、活動を自粛した。 | | | |
| 今後の課題等 | 高年齢者の健康づくりに一定の成果を残した。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・藤山校区は高齢化が進行しており参加者は限定的である。 ・PR不足の面があり、藤山校区内に如何に浸透させるか、この点が課題である。 | | | |
| | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | 1 | ② | 3 |
| 今後も事業継続できますか | 1 | 2 | ③ | |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山小学校・中学校
学校運営協議会

| | | | | |
|---|---|------------------------|--------|----------|
| 事業名 | 3 | 小中学校連携事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 30,000 円 | | 助成金充当額 | 30,000 円 |
| 事業対象者 | 宇部市立藤山小学校 宇部市立藤山中学校 | | 参加人数 | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・コミュニティスクール連絡体制の充実。 ・学校ボランティアの活用推進。 ・地域、家庭との協働的な取組の充実。 | | | |
| 事業目標 | ・事業参観(地域ユニット研修)の充実。 | | | |
| | 数値目標 | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | 地域ユニット研修の充実 | 藤山小学校 30人 藤山中学校 25人 | | |
| 事業目標 | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、活動計画をほとんど実施できず。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、行事がことごとく中止となったが、学校運営協議会の開催により、地域と学校の連携を進める意欲が高い事が確認できた。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コミュニティ・スクールへの理解を深めると共に学校と地域の協働を促せる様な活動を行う必要がある。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | 1 | ② | 3 |
| | 助成金を有効に活用できましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | 1 | 2 | ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山校区社会福祉協議会

| | | | | |
|---|--|------|-----------|-----------|
| 事業名 | 4 | 敬老事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 780,000 円 | | 助成金充当額 | 360,000 円 |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | 500名 |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・藤山小学校新1年生お祝い事業 ・敬老会行事への助成 ・ふれあい弁当配布(80歳以上の独居・高齢者世帯が対象) | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和元年実績 |
| | 敬老会参加人数 | | 敬老会目標300名 | 中止 |
| | 元気回復旅行参加人数 | | 元気回復旅行80名 | 中止 |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・敬老会は対象者にお茶を配布。 ・ふれあい弁当配布: 410個 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、行事がことごとく中止になったが、コロナ禍で可能な限りの事業を行うことで、少しは地域貢献できたと思う。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 敬老会及び元気回復旅行は、藤山地区の高齢者に浸透しており、コロナ禍でも事業形態を考えて継続が必要である。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | | 1 2 ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | | 1 2 ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | | 1 ② 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | | 1 2 ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区コミュニティ
運営協議会

| | | | | |
|---|---|----------------|--------|-----------|
| 事業名 | 5 | 藤山地区コミュニティ運営事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 2,148,215 円 | | 助成金充当額 | 645,015 円 |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 ・藤山だより発行：毎月発行 ・ふるさと祭り：中止 ・輪飾りづくり：規模を縮小して実施 | | | |
| 事業目標 | ・藤山だよりを隔月発行から毎月発行へ ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為に物品購入 | | | |
| | 数値目標 | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | | | | |
| 事業効果 | (達成できた、又は、できなかった要因) ・藤山だよりの毎月発行は達成したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、事業実施が困難だった。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為に今年度の地区行事が中止となったが、来年度へ「コロナ禍における地区行事の実現」の踏み台となった。 ・藤山だよりの発行により、地域情報の共有化が図られた。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域活動関係者の高齢化が見受けられ、若手リーダーの育成が必要である。 ・来年度以降の地域活動及びセンター活動のデジタル化推進。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | ① | 2 3 |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | 2 ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | ① | 2 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区体育振興会

| | | | | | |
|---|--|--------|--------|-----------|---|
| 事業名 | 6 | 体育振興事業 | | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | | |
| 決算額 | 378,000 円 | | 助成金充当額 | 184,000 円 | |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・散歩応援事業(親睦300オソフトボール大会代替)を9月～11月で実施 ・女子ソフトボール大会地区予選 中止 ・女子ソフトボール大会本大会 中止 ・バレーボール大会校区予選 中止 | | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和元年目標 | 令和元年実績 | |
| | | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため各大会が中止となり、活動が制限された。 | | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・散歩応援事業の参加者数(延べ74名)からも、コロナ禍でも参加意欲の高い人が多いのが確認できた。 | | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・スポーツ大会への参加者が一定の校区民に限られ、全校区民の浸透には至っておらず、この点が課題である。 ・コロナ禍の中でのスポーツ大会の持ち方が課題。 | | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 | ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

宇部交通安全協会藤山分会

| | | | | | |
|---|--|--------|--------|-----------|---|
| 事業名 | 7 | 交通安全事業 | | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | | |
| 決算額 | 430,000 円 | | 助成金充当額 | 130,000 円 | |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・早朝立哨(通年) ・緊急事態宣言発令時や交通安全運動期間の見回り・立哨の実施 ・小学校新入生へ記念品贈呈 | | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年に比べて活動が制限された。 | | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍でのパトロール巡回であったが、交通安全に対する啓蒙活動を実施。 ・交通安全に対する校区民の意識は向上に寄与する活動となった。 | | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・交通安全協会藤山分会のメンバーはベテランが多く、若手の参加が必要である。 ・コロナ禍での活動方法 | | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | ② | 3 |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 藤山地区
子供会育成連絡協議会

| | | | | |
|---|--|-------------|----------|---|
| 事業名 | 8 | 子ども会連絡協議会事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 180,800 円 | 助成金充当額 | 68,800 円 | |
| 事業対象者 | 藤山小学校の子ども会会員 及び会員外希望者 | 参加人数 | | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・藤子連ドッジビー大会 11月1日 ・宇部市子ども会ドッジビー大会参加 11月22日 ・6年生陶芸教室 12月28日 | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が制限された。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍での行事であったにも関わらず、児童の健全な成長に一定の効果が得られた。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・子ども会会員以外にも参加を促しているが、少子化の影響もあり、参加人数は減少している。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | 1 | 2 | ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区
人権教育推進委員協議会

| | | | | |
|---|--|-----------|--------|----------|
| 事業名 | 9 | 人権教育の推進事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 96,000 円 | | 助成金充当額 | 58,185 円 |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・人権学習会(3回) ・人権教育推進大会の代替として「人権だより」を発行(小中学生の作文及び人権標語掲載) | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和2年実績 |
| | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・人権教育推進大会を新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して中止。代わりに「人権だより」を発行し、小中学生たちの「人権意識の高さ」を改めて認識できた。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍の活動であったが、校区内での人権意識の高揚、差別のない地域づくりに一定の成果を残した。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・子ども会会員以外にも参加を促しているが、少子化の影響もあり、参加人数は減少している。 ・心豊かな地域社会を実現するには、人権教育の更なる浸透が必要で、現状以上の教育機会の提供が必要である。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | 2 ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | ② 3 |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

藤山地区
防犯指導員連絡協議会

| | | | | | |
|---|---|----------|--------|----------|---|
| 事業名 | 10 | 地域防犯強化事業 | | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | | |
| 決算額 | 50,000 円 | | 助成金充当額 | 40,000 円 | |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・挨拶運動(藤山中学校の正門及び西門) ・無人駅である、岩鼻駅・居能駅での放置自転車点検調査 ・子ども見守りパトロールの実施 | | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・この一年は、コロナ禍での活動となったが、放置自転車点検調査の実施などを通して防犯への意識向上ははかれた。 | | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域の防災意識の向上、犯罪の未然防止に一定の成果を残した。 ・無人駅である、岩鼻駅・居能駅の清掃活動も実施しており、藤山地区防犯指導員の活動は活発である。 | | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・藤山地区防災指導員会員の増強が必要である。 | | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 | ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 環境衛生連合会藤山支部

| | | | | |
|---|---|---------------|--------|-----------|
| 事業名 | 11 | 生活環境・保健衛生向上事業 | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | |
| 決算額 | 408,000 円 | | 助成金充当額 | 180,100 円 |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・岩鼻公園草刈作業実施 令和2年11月・令和3年3月 ・空き缶等取集作業実施 令和2年7月・11月 ・厚東川清掃作業実施 令和2年10月25日 ・会員の研修会実施 令和2年11月北九州市エコタウン訪問 | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和2年実績 |
| | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の制限を受けたが、野外活動は可能な限り実行し、環境美化に貢献できた。 | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・岩鼻公園草刈清掃は、コロナ禍とはいへ約90名が参加し、校区内行事として定着してきている。 ・定期的な研修会の開催により、校区民の保健衛生、生活環境に対するレベルは高い。 | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 環境衛生連合会藤山支部の活動は活発であるが、全校区民を巻き込んだ活動には至ったおらず、この点が課題である。 | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | 2 ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | 2 ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 ③ |

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 ふれあい運動推進委員会

| | | | | | |
|---|--|------------------|--------|----------|---|
| 事業名 | 12 | 子ども110番の旗を設置する事業 | | | |
| 事業期間 | 令和2年4月～令和3年3月 | | | | |
| 決算額 | 68,000 円 | | 助成金充当額 | 24,000 円 | |
| 事業対象者 | 全校区民 | | 参加人数 | | |
| 事業内容 | (どのような事業を、どのように行ったか) ・子ども110番の旗設置。 ・地域で子どもを見守る運動を展開する。 | | | | |
| 事業目標 | 数値目標 | | 令和2年目標 | 令和2年実績 | |
| | | | | | |
| | (達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個々の活動が中心となり、団体としての活動が弱かった。 | | | | |
| 事業効果 | (事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍の中での活動となったが、安心して子育てできる環境の整備に貢献した。 | | | | |
| 今後の課題等 | (事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・藤山地区の子育て環境をさらに整えるために、藤山小学校・藤山中学校、フロンティア幼稚園他との更なる連携強化が必要である。 | | | | |
| 自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的 | 地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 助成金を有効に活用できましたか | | 1 | 2 | ③ |
| | 多くの住民の参加が得られましたか | | 1 | ② | 3 |
| | 今後も事業継続できますか | | 1 | 2 | ③ |